



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社 サンエー化研

上場取引所 東

コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 宣隆

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 近江 剛

TEL 03-3241-5702

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	16,677	6.7	825	11.7	801	6.9	533	3.1
29年3月期第2四半期	15,624	3.8	738	24.1	749	11.3	518	11.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 953百万円 (41.8%) 29年3月期第2四半期 672百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	48.65	
29年3月期第2四半期	47.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	36,557	19,655	53.4	1,778.38
29年3月期	34,930	18,803	53.4	1,700.53

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 19,517百万円 29年3月期 18,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		9.00	16.00
30年3月期		9.00			
30年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	4.7	1,270	8.9	1,200	17.9	828	16.6	75.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	11,320,000 株	29年3月期	11,320,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	345,345 株	29年3月期	345,303 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	10,974,688 株	29年3月期2Q	10,974,797 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、政治・経済面で先行き不透明感が残るものの総じて回復傾向をたどりました。米国経済は個人消費が堅調で、景気回復が持続しており、欧州においても輸出環境の改善により回復基調が強まりました。中国においては政府の金融引き締めによってインフラ及び不動産関連投資の伸びが鈍化しましたが、個人消費が引き続き堅調で、景気は底堅く推移しました。

わが国経済については、人手不足感の強まりにより賃金上昇圧力が高まりつつありますが、輸出の増加により企業収益が改善し、それに伴う設備投資や訪日客数の増加等による建設投資の拡大によって景気は緩やかに回復基調をたどっております。

そのような状況下、当社グループの業績につきましては、比較的良好な事業環境が持続したこともあって、グループ全体で売上を伸ばすことができました。なかでも機能性材料については、光学用途の表面保護フィルムの受注が好調で、大幅な増収となりました。また、損益面については、前期竣工した新工場にかかる費用負担が期初から発生し、収益圧迫の一因となりましたが、機能性材料の収益拡大によってそれを吸収し、グループ全体で増収となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高166億77百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益8億25百万円（前年同期比11.7%増）、経常利益8億1百万円（前年同期比6.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億33百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりです。

軽包装材料

食品用包材の分野では、電子レンジ対応食品包材「レンジD o!」の販売が引き続き堅調、清涼飲料用パウチの受注も前年同期を上回り、増収となりました。精密機器その他の包材については、前四半期にエア緩衝材「エアロテクト」が前年同期の大幅減収の反動で増収となりましたが、主力ユーザーの生産計画見直しは継続しており、増収額は縮小しました。

一方、医薬品・医療用包材の分野では、高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」の販売が堅調ではありましたが、他の医療用包材が主要顧客の一時的な取扱量減少の影響を受け、減収となりました。洗剤・トイレタリー用包材の分野でも、液体洗剤やシャンプー・リンス等の詰め替え用パウチの販売が競争激化により伸び悩み、減収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は69億2百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

産業資材

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、宅配便貨物を中心に物流が増加傾向にありますが、その際使用される梱包用テープの国内生産量は、海外製品流入の影響もあって頭打ちの状態が続きました。このような状況により、主要顧客である国内テープメーカーからの受注が伸び悩み、テープ基材関連製品は減収となりました。

剥離紙については、自動車関連分野の受注が前年同期並みの水準にとどまる一方、医療用品関連の受注が増加し、IT関連分野に使用される電材用工程紙についても、海外ユーザー向けの販売が好転したことから、増収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億77百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

機能性材料

粘着塗工タイプの表面保護フィルム「サニテクト」については、大口案件の終息によりPET基材の「NSタイプ」が低調ではありましたが、その他の光学用途の受注が比較的好調で、増収となりました。

2層押し出しタイプの表面保護フィルム「PAC」については、液晶テレビ関連分野に加え、スマートフォン関連でも受注が伸び、増収となりました。

精密塗工タイプの表面保護フィルム「SAT」については、液晶テレビ向け偏光板用の受注が海外を中心に好調であったことに加え、スマートフォン関連の受注も全般的に堅調に推移したことから、大幅な増収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は58億51百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	6,902百万円	41.4%	1.9%減
産業資材	3,577百万円	21.4%	1.6%増
機能性材料	5,851百万円	35.1%	21.8%増
その他	346百万円	2.1%	31.6%増
合計	16,677百万円	100.0%	6.7%増

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末と比べて16億26百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が8億10百万円増加したことや、投資有価証券が6億14百万円増加したためであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末と比べて7億74百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億1百万円増加したためであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて8億52百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が4億35百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が4億15百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案した結果、平成29年8月10日に発表した通期の連結業績予想を変更いたしました。詳細につきましては、本日（平成29年11月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,387,743	5,198,367
受取手形及び売掛金	10,175,858	10,402,684
電子記録債権	1,562,176	1,819,975
商品及び製品	1,206,590	1,427,456
仕掛品	1,283,631	1,274,026
原材料及び貯蔵品	688,963	623,440
その他	532,317	303,647
貸倒引当金	△36,421	△38,076
流動資産合計	19,800,860	21,011,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,070,356	4,099,886
機械装置及び運搬具(純額)	2,352,339	2,345,637
土地	1,948,200	1,948,200
その他(純額)	317,819	211,277
有形固定資産合計	8,688,715	8,605,001
無形固定資産	12,798	10,458
投資その他の資産		
投資有価証券	4,931,041	5,545,307
関係会社出資金	531,090	407,863
退職給付に係る資産	762,959	796,025
その他	204,338	182,621
貸倒引当金	△851	△850
投資その他の資産合計	6,428,578	6,930,968
固定資産合計	15,130,091	15,546,428
資産合計	34,930,952	36,557,950

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,738,799	7,340,020
短期借入金	3,226,668	3,235,001
未払法人税等	332,929	277,553
賞与引当金	466,598	481,064
役員賞与引当金	6,851	7,224
その他	1,693,545	1,997,811
流動負債合計	12,465,392	13,338,674
固定負債		
長期借入金	1,909,945	1,615,525
役員退職慰労引当金	139,643	107,963
環境対策引当金	12,338	12,338
退職給付に係る負債	491,459	498,895
資産除去債務	104,686	105,028
その他	1,004,273	1,224,034
固定負債合計	3,662,345	3,563,784
負債合計	16,127,738	16,902,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,756	2,136,756
利益剰余金	12,645,057	13,080,227
自己株式	△116,011	△116,042
株主資本合計	16,841,803	17,276,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,885,108	2,300,549
為替換算調整勘定	△13,249	△25,240
退職給付に係る調整累計額	△50,811	△35,154
その他の包括利益累計額合計	1,821,048	2,240,154
非支配株主持分	140,362	138,394
純資産合計	18,803,213	19,655,491
負債純資産合計	34,930,952	36,557,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	15,624,916	16,677,691
売上原価	13,205,676	14,291,957
売上総利益	2,419,240	2,385,733
販売費及び一般管理費	1,680,618	1,560,723
営業利益	738,621	825,010
営業外収益		
受取利息	337	173
受取配当金	53,170	56,246
作業くず売却益	23,459	24,789
クレーム収入	9,721	17,957
その他	8,627	10,674
営業外収益合計	95,316	109,841
営業外費用		
支払利息	13,855	13,986
持分法による投資損失	17,088	113,975
為替差損	17,231	485
環境対策費	32,000	—
その他	3,865	4,601
営業外費用合計	84,041	133,048
経常利益	749,896	801,803
税金等調整前四半期純利益	749,896	801,803
法人税、住民税及び事業税	231,097	254,303
法人税等調整額	△4,013	13,491
法人税等合計	227,083	267,795
四半期純利益	522,812	534,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,688	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	518,123	533,941

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	522,812	534,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	253,718	415,774
為替換算調整勘定	△26,016	△2,740
退職給付に係る調整額	17,913	15,656
持分法適用会社に対する持分相当額	△96,152	△9,251
その他の包括利益合計	149,462	419,440
四半期包括利益	672,275	953,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667,730	953,048
非支配株主に係る四半期包括利益	4,544	400

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	749,896	801,803
減価償却費	313,060	508,417
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,806	△2,035
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,215	△31,680
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,081	1,654
受取利息及び受取配当金	△53,507	△56,419
支払利息	13,855	13,986
持分法による投資損益(△は益)	17,088	113,975
環境対策引当金の増減額(△は減少)	32,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,110,519	△472,630
たな卸資産の増減額(△は増加)	△105,936	△145,738
仕入債務の増減額(△は減少)	798,785	565,415
未払消費税等の増減額(△は減少)	△222,539	390,791
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	7,220	△1,028
その他	45,579	119,315
小計	482,042	1,805,827
利息及び配当金の受取額	53,507	56,419
利息の支払額	△12,892	△13,973
環境対策費の支払額	△219,674	△28,492
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△361,131	△349,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,147	1,470,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,810,943	△398,046
投資有価証券の取得による支出	△13,605	△15,901
貸付けによる支出	△1,030	△600
貸付金の回収による収入	1,262	1,118
その他	△1,839	30,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,826,156	△382,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	8,333
長期借入れによる収入	2,100,000	—
長期借入金の返済による支出	△141,920	△128,795
自己株式の取得による支出	—	△30
配当金の支払額	△76,808	△98,736
非支配株主への配当金の支払額	△2,400	△2,400
リース債務の返済による支出	△22,372	△23,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,866,498	△245,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,497	△880
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△40,303	841,295
現金及び現金同等物の期首残高	5,481,275	4,257,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,440,972	5,099,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	7,034,143	3,521,399	4,806,166	15,361,709	263,207	15,624,916
セグメント利益又は損失 (△)	432,891	△96,209	374,457	711,139	27,482	738,621

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。
2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	6,902,124	3,577,646	5,851,511	16,331,282	346,409	16,677,691
セグメント利益又は損失 (△)	430,898	△403,900	751,588	778,586	46,424	825,010

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。
2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。